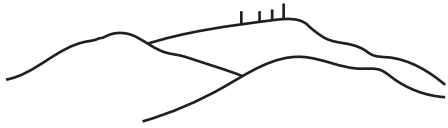


Youth Manna

2021/1/11 - 1/17



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/1/11(月)

民数記 4:21-49

昨日に続いて、レビ人のゲルシオン族とメラリ族のうちで天幕で奉仕できる人が調べられて登録されたよ。49節「彼らは主の命により、モーセを通して任じられ」とあるように、君に賜物を与え、良い働きのために召される方は、神様です！イエス様の十字架の血潮によって神様のものとされた自分であることを覚えて感謝しよう！

あなたは、どのように神様に仕えるように導かれているだろうか？どんなことでも、神の家族である教会で君が出来ることを見つけてやっつけていこう！まだ分からない人は、神様に祈って聞いてみよう！

2021/1/12(火)

民数記 5章

2-4節で、神様は汚れた者たちを宿営から追い出すように命じました。彼らは神様から嫌われているわけではなくて、宿営の中に聖さが保たれるために、彼らは一定期間隔離されました。

続いて神様は、他人に罪を犯した場合のことを語っているね。6-7節から、どんな大切なことを学ぶだろうか？神様が私たちに期待されていることを読み取ろう！

12節以降には、妻が不倫をして夫の信頼を裏切った場合について神様が命じていることです。神様が願われていることは、夫婦の間に良い信頼関係があることなんだ。

今日神様があなたに気づかせてくださったことがあれば、そのことを祈ろう！そして、どうしたら良いか聞いて、行おう！！

2021/1/13(水)

民数記 6章

ナジル人とは、自分を神様のものとして身を聖別するために誓願を立てる人のこと。つまり神様への全き献身を示す人です。聖別期間中の振る舞いが3-12節に書いているね。これによって本人だけでなく、周りの人も、聖なる神様を深く覚えることができました。

このナジル人の教えの後に、有名な祝福のことばが記されています。これは、ナジル人に対してではなく、イスラエルの子らに対しての祝福なので、神様は特別に献身した人にだけでなく、ご自身を礼拝するすべての民に祝福を与える方だと分かるね。(Blessing という賛美が Youtube に UP されてるので聴いてみよう。GC も参加している日本語版もあるよ！)

祭司がイスラエルを祝福したように、私たちも祝福を流すものとして神様に選ばれています。今思わされた人たちのために、24-26 のことばを持って祝福しよう！！

2021/1/14(木)

民数記 7:1-23

今日の箇所では献げるといことがメインで出てくる。現代の献げ物とはどのような物があるだろうか？それは献金だったり、神さまを伝える一人一人の働きなどがある。

献げ物は、神の働きを完成するものとして用いられていく。私たちが献げる物は、教会に吸収されるのでも、教会に受納されるのでもなく、教会の働きがさらに強化され、完成されるように、用いられていくのである。神様はささげもの自体を必要としておられるわけではなく、ささげる人の一人一人の応答、すなわち神様への愛を見ておられる。

そして礼拝は、恵みを受けるという側面もあるが、なにより喜びを持って自らを献げるのが基本である。

「献げる」ことについて語られたことを喜びを持って行っていこう！

いちごの日！ 2021/1/15(金)

民数記 7:24-41

▶昨日に引き続き、族長たちが祭壇へ献げたものが書かれている。3日目はゼブルン族、4日目はルベン族、5日目はシメオン族だ。▶働き盛りの人が最も多いユダ族 76,400 人と最も少ないマナセ族 32,200 人を比べると人数は倍以上違うが、ささげ物の中身と量は、すべての部族で全く同じだった。人数の多さは、祝福を表すこともあるが、同じ分量のささげ物をするので、主の前には同じ価値を持つ民であることと、等しく奉仕する者(レビ族)を支える責任があることが、表されているのではないだろうか。

▶主は献げものの分量によって価値をはからない。レプタ 2 枚の銅貨を献げたやもめの信仰(マルコ 12:41-44)をイエス様は称賛された。信仰を持って主に献げる私たち一人一人は、ともに主のものだ！主の前の私たちの価値と責任は何か考えてみよう！

2021/1/16(土)

民数記 7:42-65

順番に各部族がささげものをし続けているね。文字だけを見ると、同じようなことの繰り返しが続いているようにも見える箇所だけど、ここにあるのは人々が目一杯の信頼と感謝をもって神様を礼拝している姿なんだ。

族長たちは入れ物いっぱいささげものを入れることを通して、私たちの全てを満たしてくださる神様がどういうお方かを思いめぐらし、応答していたんだね。

礼拝、献金、奉仕、日々の生活…私たちもその時にできる精一杯のものを神様にささげていこう！

2021/1/17(日)

民数記 7:66-89

今日の箇所は、十二部族による祭壇奉獻の終わりの部分です。十二部族の代表によるささげ物のリストは欠けることなく記されました。全部族のささげ物の合計(84-88)は完全なお方にふさわしく、完全を表す数となっています。

これらのささげ物が主に献げられた後、モーセは主と語るために会見の天幕に入りました。するとモーセに主の御声がありました。その声は、神様がモーセを通して民に親しく語りかけてくださるしるしであると同時に、民から献げられたささげ物が主に受け入れられたことをも表しています。

神様はあなたにも語られています。時には、神様の声が聞こえないというような経験をすることもできません。しかし、主は、その沈黙をも通して私たちに語りかけています。

主よ、今日もあなたの御声を聞くことができますように。